

Global Digital Transformation Partner

2026年3月期 第1四半期決算 補足説明資料



2025年7月31日

トランスコスモス株式会社

1. エグゼクティブサマリ
 2. 連結損益計算書サマリ
 3. 連結売上高の増減分析
 4. 連結売上高の増減分析（四半期推移）
 5. 連結売上高の増減分析（BPOサービス）
 6. 連結売上高の増減分析（CXサービス）
 7. 連結売上高の増減分析（海外地域別）
 8. 連結営業利益の増減分析
 9. 連結営業利益の増減分析（四半期推移）
 10. 単体サービス 営業利益の増減分析
 11. 親会社四半期純利益の増減分析
 12. 連結貸借対照表の概要
 13. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点
- Appendix : 1Q 活動トピックス

連結売上高
944.4億円
(前年同期比 +33.6億円)

連結営業利益
36.8億円
(前年同期比 +6.4億円)

親会社四半期純利益
34.0億円
(前年同期比 +17.9億円)

- 売上高は対前年+3.7%の増収となり、第1四半期として過去最高売上高を更新。営業利益（営業利益率：前1Q 3.3%⇒当1Q 3.9%）は、第1四半期として過去最高益の水準（コロナ関連業務の影響のあった2021年3月期～2023年3月期を除く）
- 引き続き専門性の高い正社員領域を中心にアウトソース需要は強く、BPOサービスの売上高は対前年+7.4%増収。営業利益率は+0.6ポイント上昇
- trans-DX for Supportは受注好調、デジタルコンタクトセンターは成長性が回復し、CXサービスの売上高は対前年+3.6%増収。営業利益率は+0.5ポイント上昇
- 海外（地域別売上）は東南アジア・中国・韓国での売上増加で対前年+2.1%増収。欧米は事業再編が進展し収益性改善に寄与
- 親会社四半期純利益は営業利益の増加に加え、特別損失や税金費用が減少したことで大幅増益

2. 連結損益計算書サマリ



単位：億円(千万円未満四捨五入)	2025年3月期 1Q		2026年3月期 1Q		前年同期比		2026年3月期（予想）	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	進捗率
売上高	910.8	100.0%	944.4	100.0%	+33.6	+3.7%	4,000.0	23.6%
単体サービス	595.7	65.4%	623.0	66.0%	+27.3	+4.6%		
国内関係会社	104.1	11.4%	104.8	11.1%	+0.8	+0.7%		
海外関係会社	243.9	26.8%	250.0	26.5%	+6.1	+2.5%		
セグメント間取引消去	-32.8	-3.6%	-33.4	-3.6%	-0.6	-1.7%		
売上総利益	173.8	19.1%	181.4	19.2%	+7.7	+4.4%		
販管費	143.3	15.7%	144.6	15.3%	+1.3	+0.9%		
営業利益	30.4	3.3%	36.8	3.9%	+6.4	+21.0%	155.0	23.8%
単体サービス	13.2	2.2%	18.3	2.9%	+5.1	+38.9%		
国内関係会社	7.1	6.8%	8.9	8.5%	+1.8	+25.5%		
海外関係会社	10.2	4.2%	9.6	3.8%	-0.6	-6.0%		
セグメント間取引消去	-0.1	-	0.0	-	+0.1	-		
営業外損益	7.2	0.8%	7.3	0.8%	+0.1	+1.2%		
経常利益	37.6	4.1%	44.1	4.7%	+6.5	+17.2%	170.0	26.0%
特別損益	-5.1	-0.6%	-0.4	-0.0%	+4.7	+92.5%		
親会社四半期純利益	16.1	1.8%	34.0	3.6%	+17.9	+111.4%	115.0	29.6%

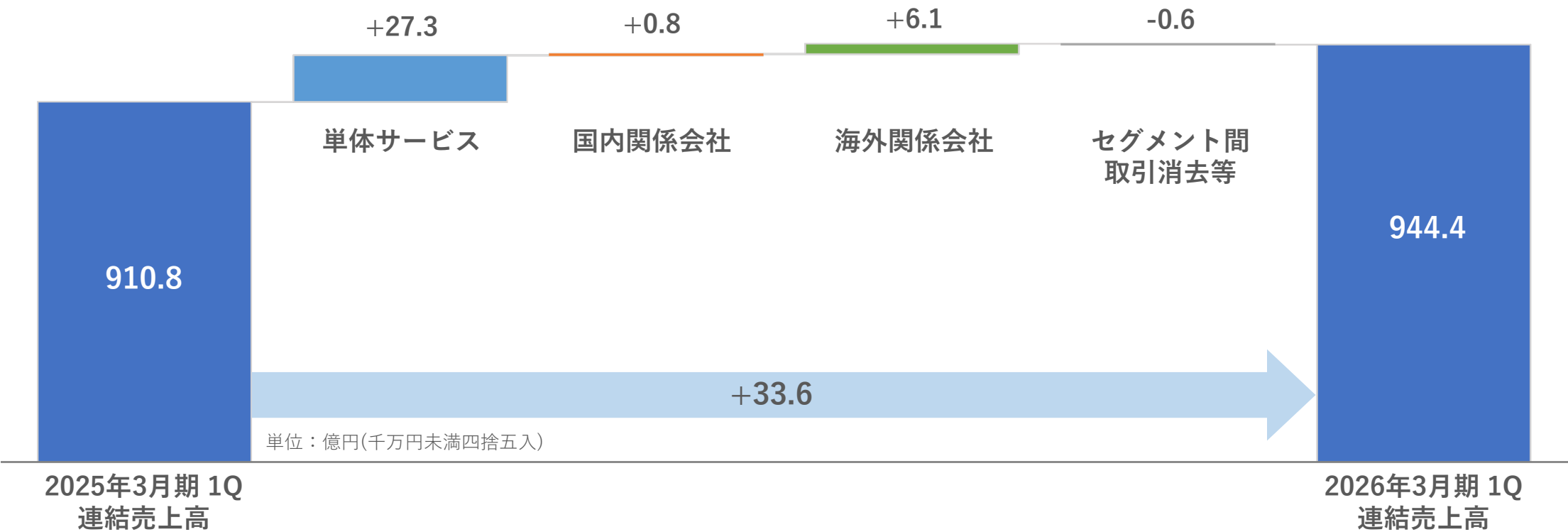
※ 各セグメント利益の売上比は、各セグメント売上高に対する比率として記載しています。

3. 連結売上高の増減分析



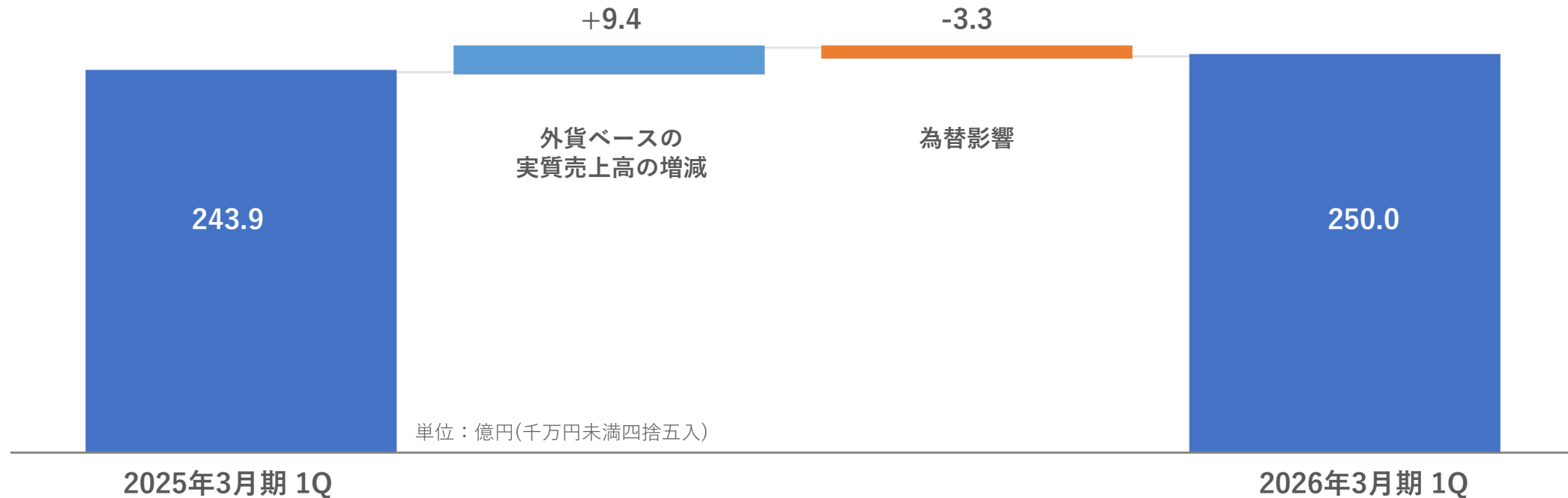
- 連結売上高 増加：+33.6億円（+3.7%）

単体サービス	CXサービスおよびBPOサービスの売上増加で増収
国内関係会社	ITコンサル子会社、開発子会社などの売上増加で増収
海外関係会社	中国・韓国・東南アジアの各子会社の売上増加で増収



ご参考：海外関係会社セグメントの売上高に対する為替の影響

- 外貨ベースの実質売上高は、韓国・中国の各子会社の売上増加で+9.4億円の増収。為替変動による影響は、-3.3億円



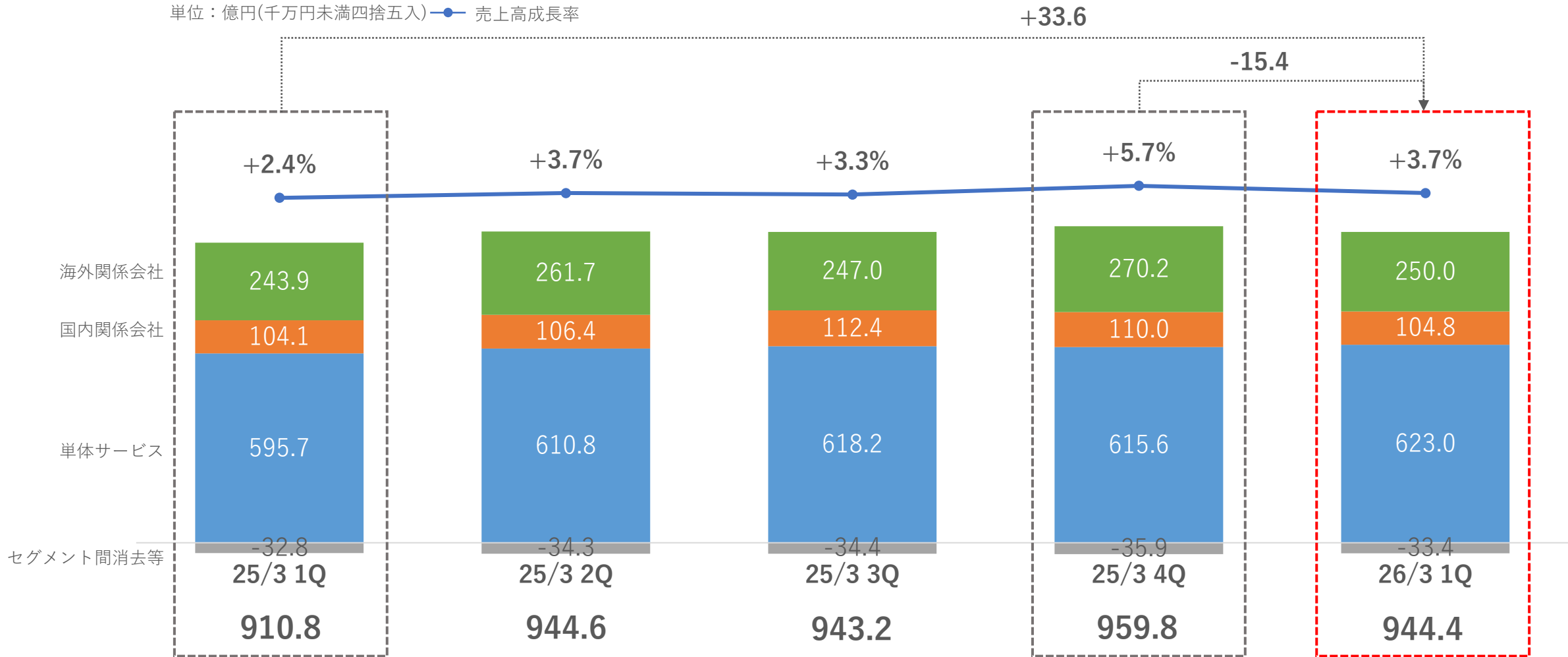
※ 上記グラフは当社連結決算上影響が大きい、海外子会社の外貨ベース決算書を連結決算書に取り込む際の為替影響額についてのみ表示しております。なお、営業利益についての影響は軽微であります。

4. 連結売上高の増減分析（四半期推移）



- YoY：全セグメントの売上が増加し+33.6億円の増収
- QoQ：単体サービスは増収に転換。一方、海外関係会社の売上減少などで-15.4億円の減収

単位：億円(千万円未満四捨五入) ● 売上高成長率



CXサービス (連結売上高構成比 約70%)	
マーケティングからカスタマーケアまで カスタマージャーニー全体にわたる デジタル顧客接点をカバーする統合サービス	
日本	デジタルコンタクトセンター カスタマーサポート
	デジタルインテグレーション Webサイト/アプリ構築・改善・運用、 SNS運用/LINE活用
	デジタルプロモーション インターネット広告サービス
	ECワンストップ ECサイト構築・運用・フルフィルメント
海外 (主にコンタクトセンター・EC) 韓国・中国・東南アジア・欧米	

BPOサービス (連結売上高構成比 約30%)	
業界共通のコーポレートバックオフィス業務 (会計、人事、IT など)と業界特有の業務 のアウトソーシングサービス	
日本	業界共通型デジタルBPO 経理・人事・調達購買・受発注・営業事務、 ITシステムの運用保守などの業務をサポート
	業界特化型デジタルBPO 製造業・建設業のシステム・業務をサポート
海外 韓国・中国・東南アジア・欧米	

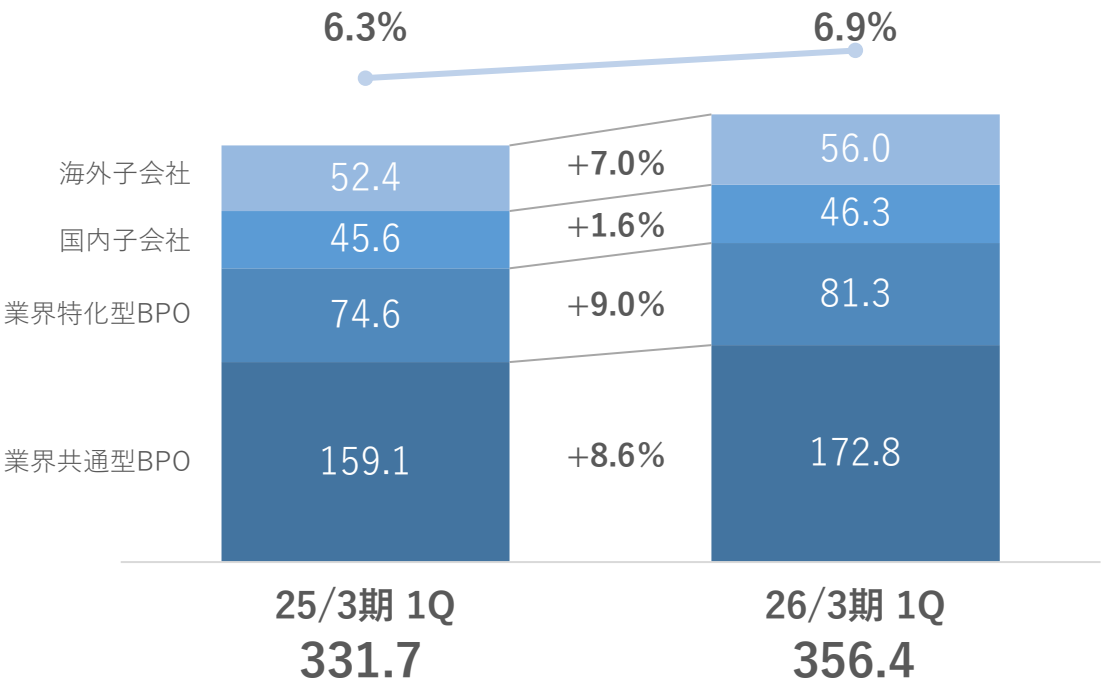
5. 連結売上高の増減分析（BPOサービス）

- BPOサービスの売上高は対前年+7.4%の増収、営業利益率は+0.6ポイント上昇
- 引き続き国内において専門性の高い正社員領域のアウトソース需要を取り込み、業界特化型デジタルBPOサービス、業界共通型デジタルBPOサービスの売上が増加。海外は中国オフショア開発事業の売上が増加

単位：億円(千万円未満四捨五入) ● 営業利益率

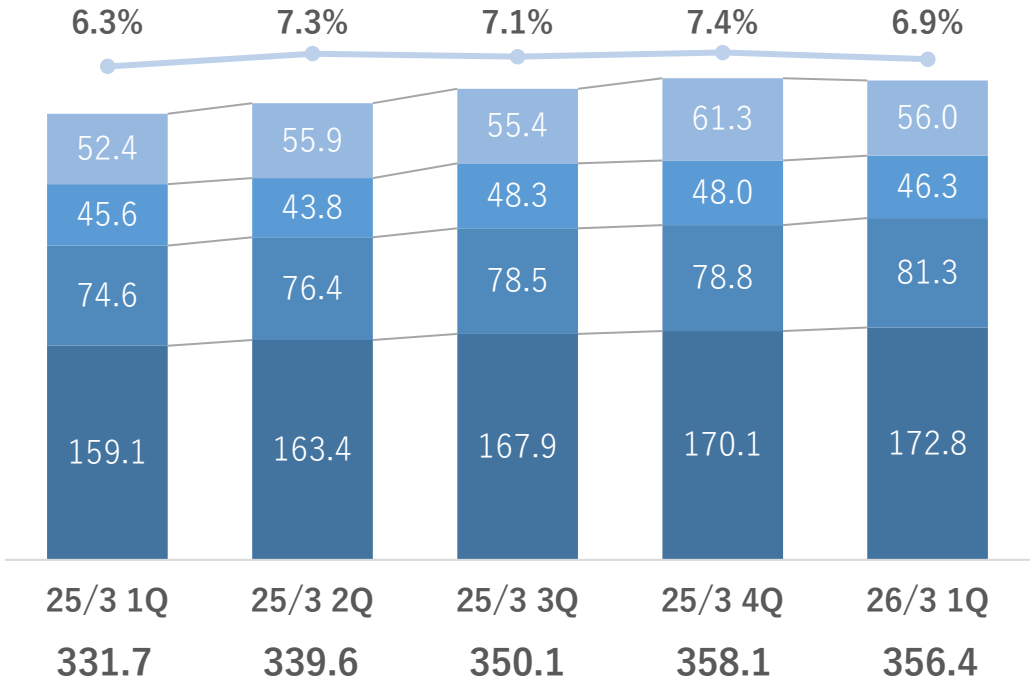
前年同期比 (1Q)

売上高 +24.7億円/+7.4%、営業利益率 +0.6pt



四半期推移 (QoQ)

売上高 -1.7億円/-0.5%、営業利益率 -0.6pt



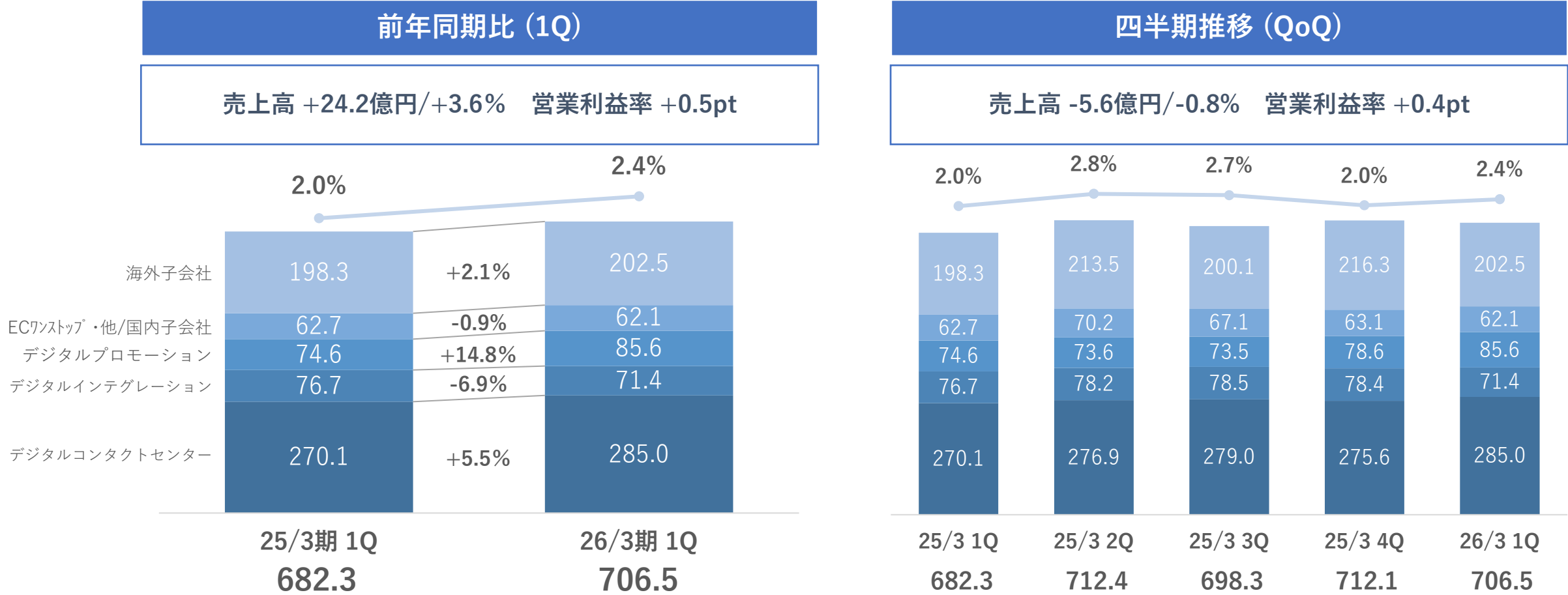
6. 連結売上高の増減分析（CXサービス）

※ サービス別売上高は、管理会計上の総売上高をベースとしており、またセグメント間取引消去分は考慮していません。



- CXサービスの売上高は対前年+3.6%の増収、営業利益率は+0.5ポイント上昇
- trans-DX for Supportは受注好調、デジタルコンタクトセンターは成長性が回復。価格交渉の進展、生成AIなどデジタル技術を活用した生産性改善などで収益性が改善。デジタルインテグレーションは既存の大型案件縮小などで減収

単位：億円(千万円未満四捨五入) ● 営業利益率



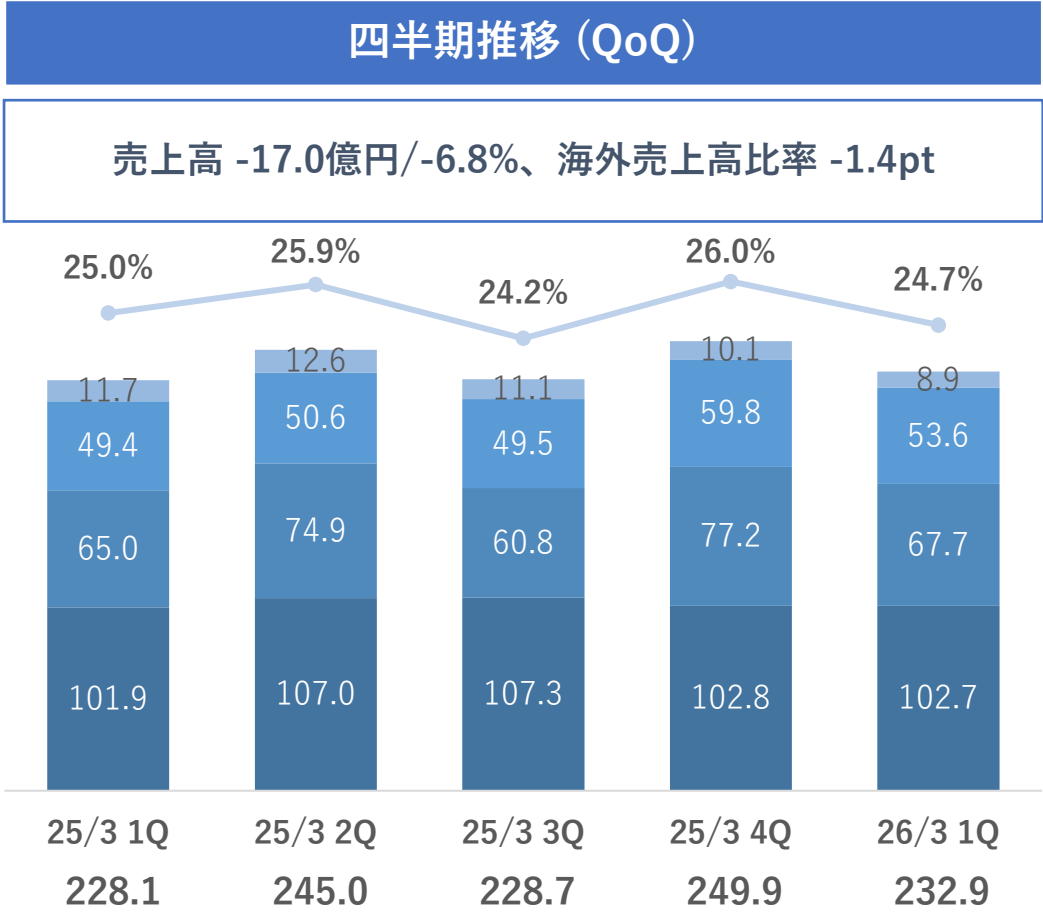
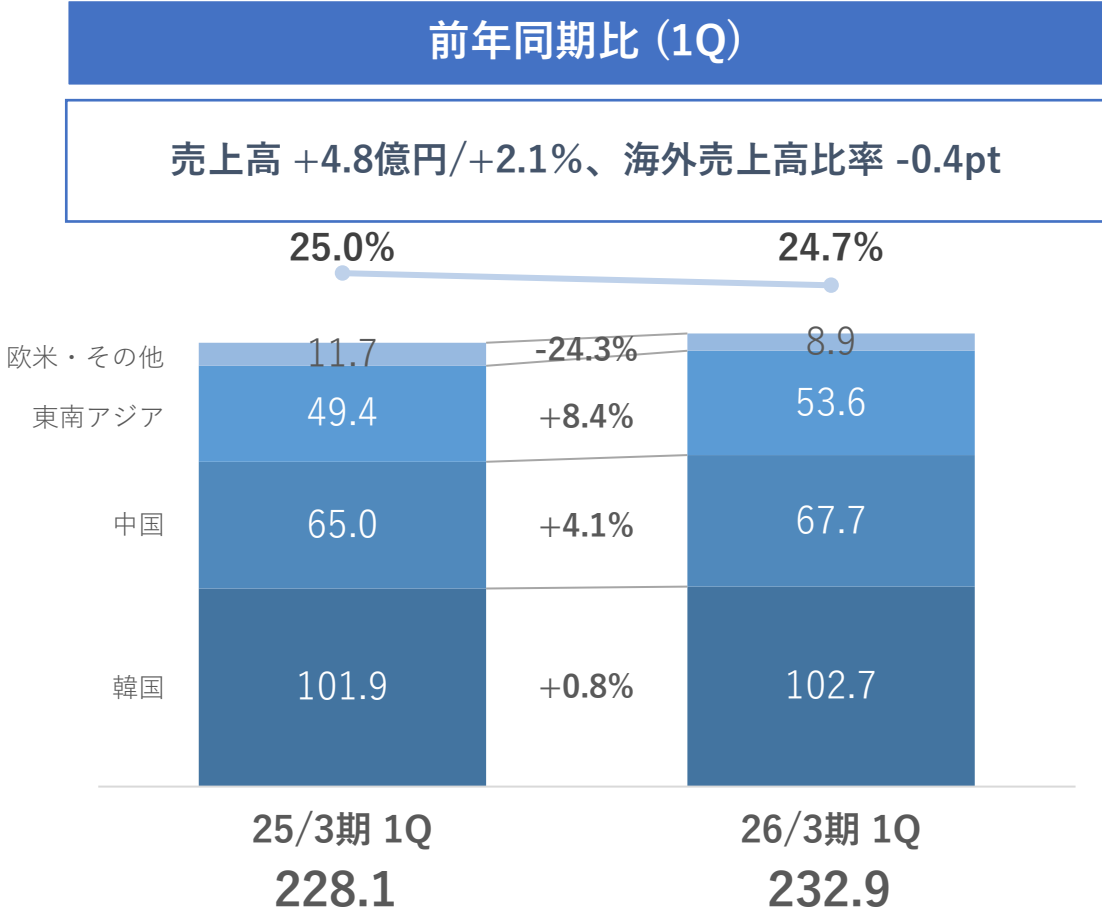
7. 連結売上高の増減分析（海外地域別）

※ 海外売上高は、「海外関係会社」セグメントとは異なり、顧客の所在地を基礎とし国または地域に分類しています。



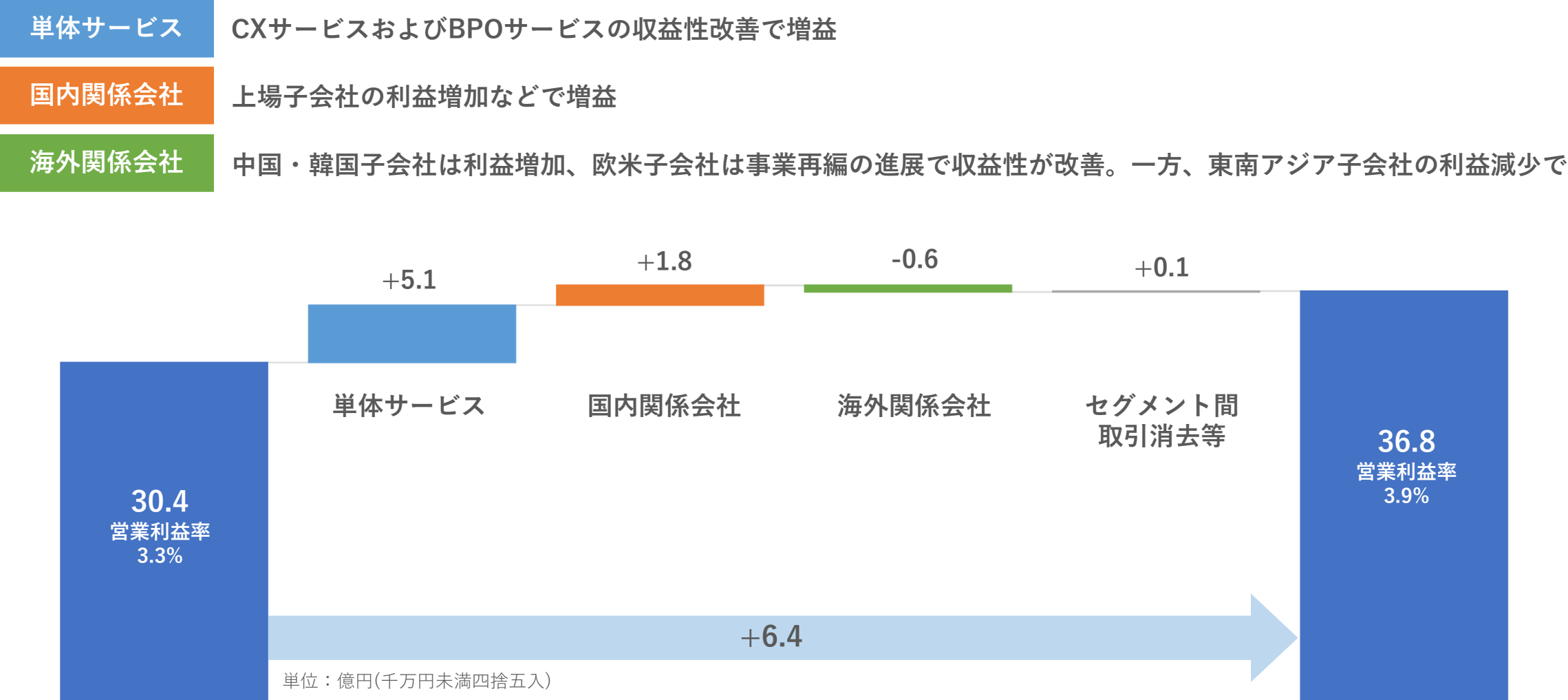
- 韓国：対前年+0.8%の増収。デジタルコンタクトセンターの売上が増加
- 中国：対前年+4.1%の増収。デジタルコンタクトセンターの売上が増加
- 東南アジア：対前年+8.4%の増収。タイのEC事業の売上が増加
- 欧米・その他：対前年-24.3%の減収。米国・欧州での赤字解消に向け事業再編中

単位：億円(千万円未満四捨五入) ● 海外売上高比率



8. 連結営業利益の増減分析

- 営業利益 増加：+6.4億円（+21.0%）



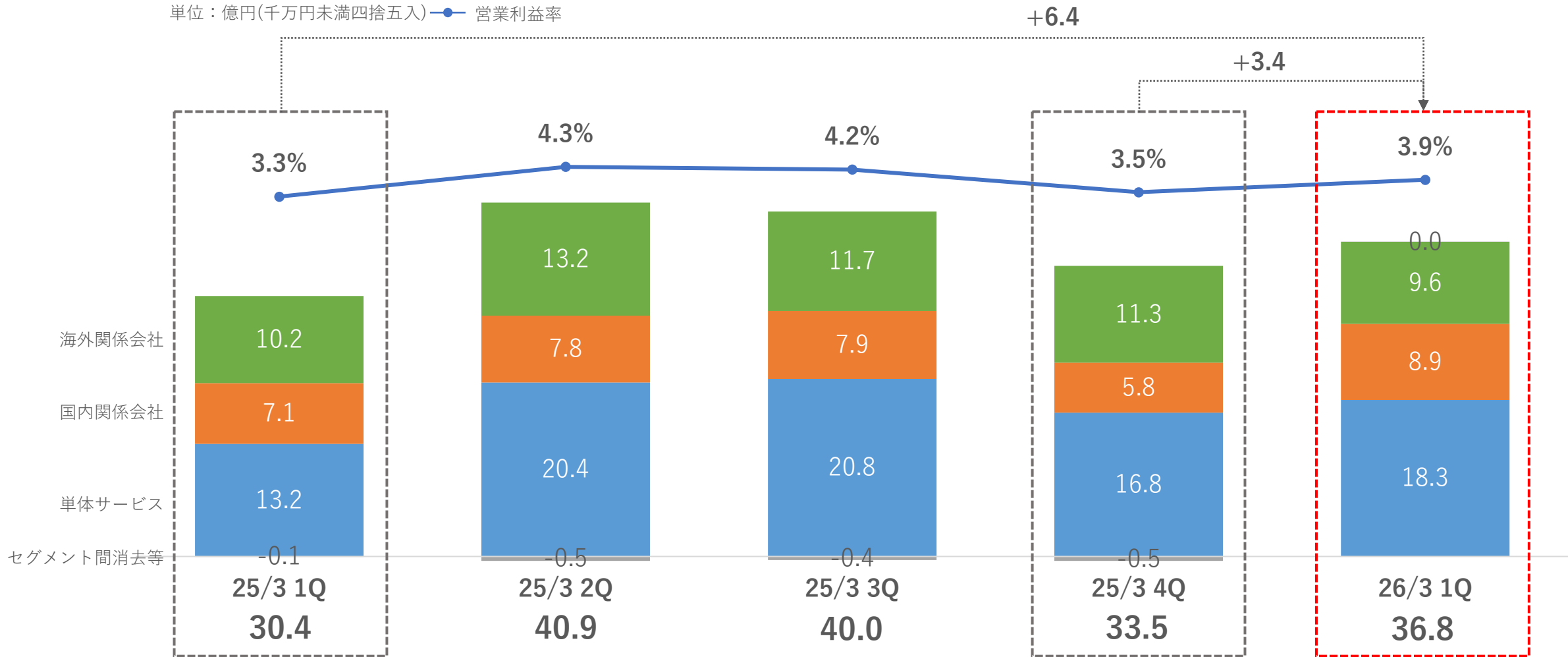
2025年3月期 1Q
連結営業利益

2026年3月期 1Q
連結営業利益

9. 連結営業利益の増減分析（四半期推移）

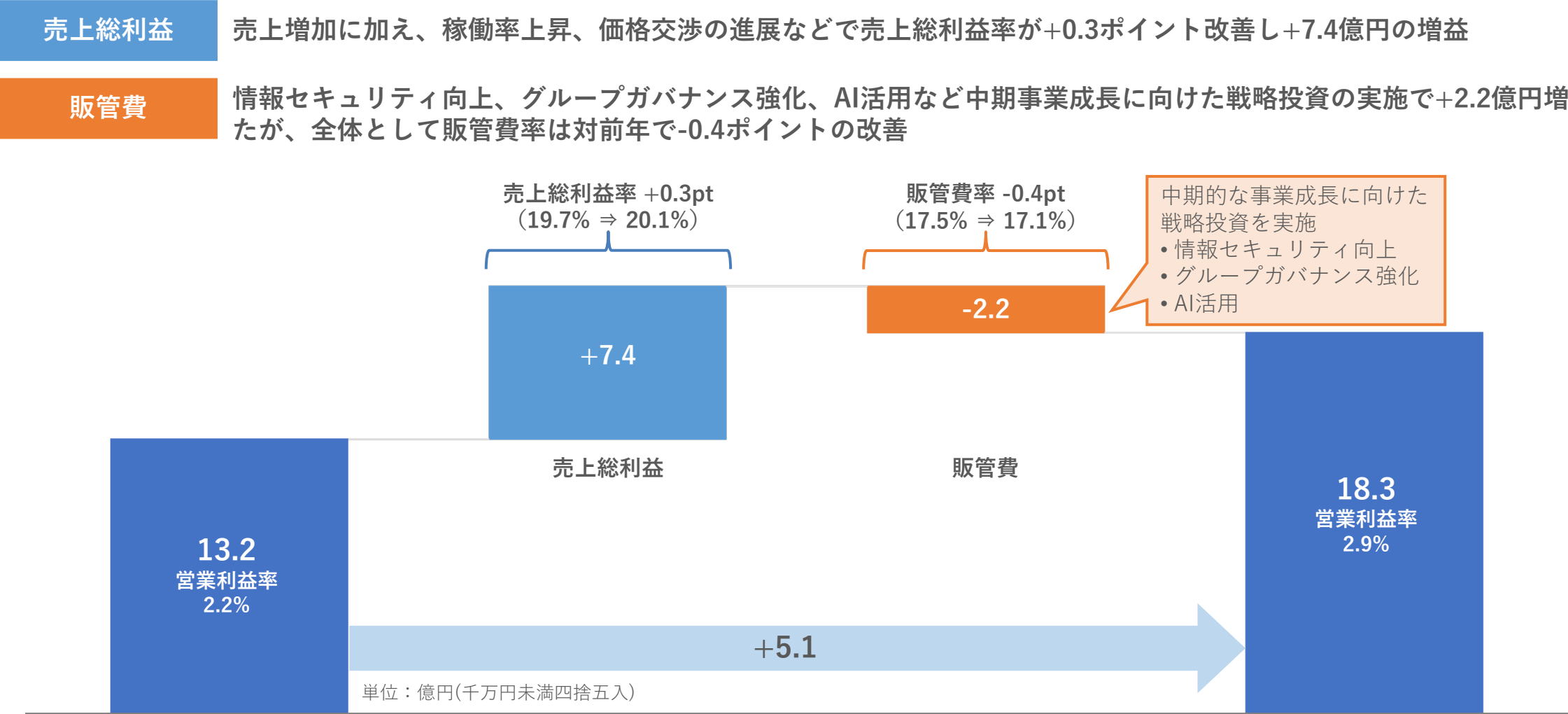
- YoY：単体サービス・国内関係会社の利益増加で+6.4億円の増益。営業利益率は+0.6ポイント上昇
- QoQ：単体サービス・国内関係会社の利益増加で+3.4億円の増益。営業利益率は+0.4ポイント上昇。海外関係会社は、東南アジアの利益減少で減益

単位：億円(千万円未満四捨五入) ● 営業利益率



10. 単体サービス 営業利益の増減分析

- 営業利益 増加：+5.1億円（+38.9%）

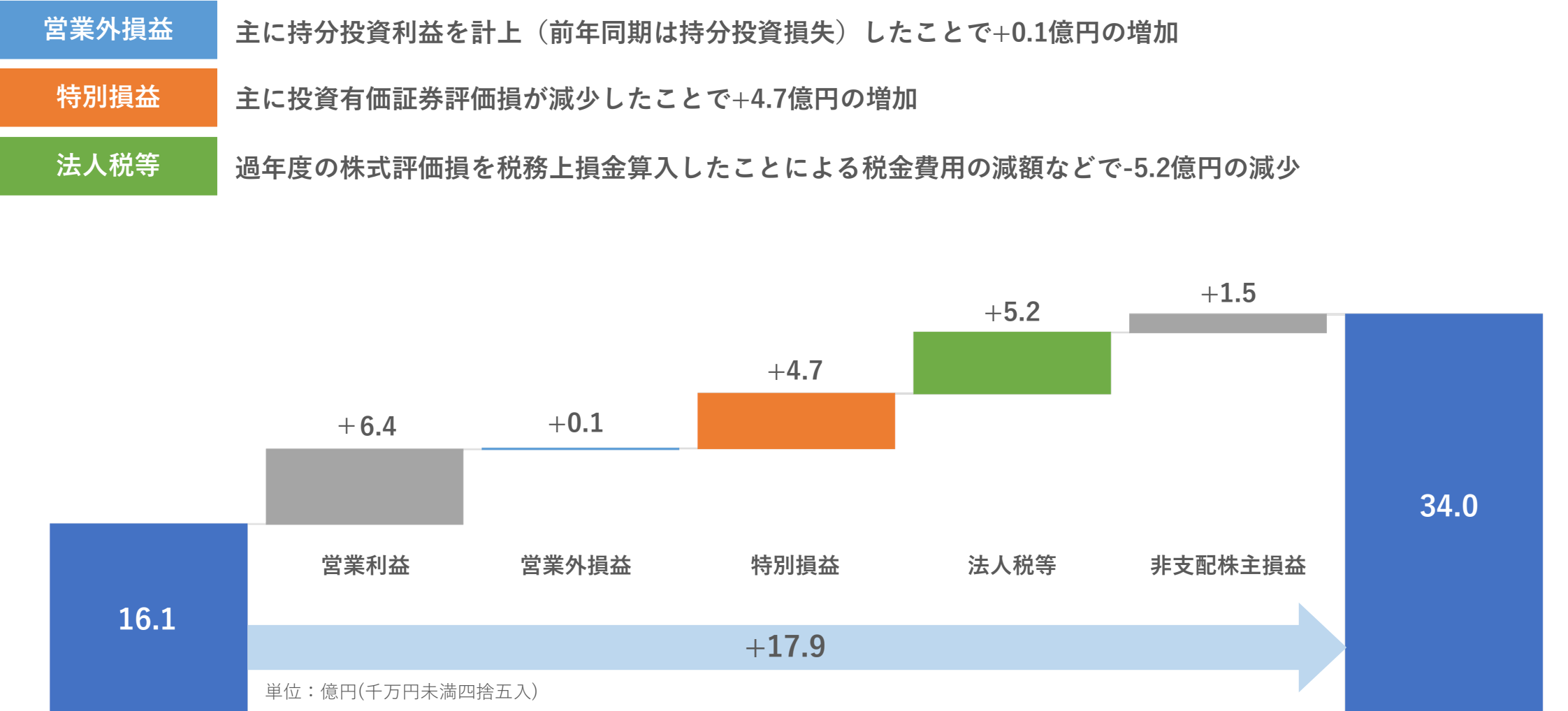


2025年3月期 1Q
営業利益

2026年3月期 1Q
営業利益

11. 親会社四半期純利益の増減分析

- 親会社四半期純利益 増加：+17.9億円（+111.4%）



2025年3月期 1Q
親会社四半期純利益

2026年3月期 1Q
親会社四半期純利益

12. 連結貸借対照表の概要

- 資産：前期末の売上債権の回収等による「受取手形、売掛金及び契約資産」が減少
- 負債：借入金返済による「長期借入金」が減少、当期支給対象期間分の引当積み増しによる「賞与引当金」が増加
- 純資産：「為替換算調整勘定」が減少

単位：億円(千万円未満四捨五入)	2025年3月末	2025年6月末	増減額	
流動資産	1,546.6	1,526.9	-19.7	・ 受取手形及び売掛金 -36.1
固定資産	533.3	529.0	-4.3	・ 有形固定資産 -7.9
資産合計	2,079.8	2,055.8	-24.0	・ 投資有価証券 +6.6
流動負債	620.1	649.8	+29.6	・ 関係会社株式 -9.1
固定負債	169.0	148.0	-21.0	・ 未払金 -11.7
負債合計	789.2	797.8	+8.6	・ 賞与引当金 +24.5
純資産	1,290.7	1,258.0	-32.6	・ 長期借入金 -20.1
負債・純資産合計	2,079.8	2,055.8	-24.0	・ 利益剰余金 -5.7
				・ 為替換算調整勘定 -29.7
現預金	735.0	726.3	-8.7	・ 配当の支払い、借入金の返済などで減少
有利子負債	165.3	144.9	-20.5	
Netキャッシュ*	569.7	581.5	+11.8	
Netキャッシュ*月商倍率（倍）	1.8	1.8	+0.0	

*Netキャッシュ=現預金－有利子負債

13. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点

● 設備投資額・減価償却費

単位：億円(千万円未満四捨五入)	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減率
設備投資額	9.8	6.0	-38.7%
減価償却費	14.1	13.7	-2.8%

- 設備投資額
単体の設備投資が減少
- 減価償却費
国内関係会社・海外関係会社の減価償却費が減少

● 従業員数

	2025年3月末	2025年6月末	増減
連結従業員数	41,682	42,100	418
（臨時従業員数）	28,971	28,135	-836
単体従業員数	17,910	18,412	502
（臨時従業員数）	21,002	20,880	-122

- 連結
主に単体で従業員数が増加。臨時従業員は一部案件の縮小に伴い東南アジアで減少
- 単体
新卒採用で従業員が増加

● サービス拠点

	2025年3月末	2025年6月末	増減
サービス拠点	184	182	-2
（国内サービス拠点）	72	71	-1
（海外サービス拠点）	112	111	-1

- 国内
コンタクトセンターが一部減少
- 海外
中国の一部センターを統廃合

*サービス拠点は、自社サービス拠点のほかに本部・支社・営業所・関係会社・パートナー等の拠点も含む

Appendix

サービスの開発・強化

- アパレル向け画像生成AIサービス「trans-AI Pics(ベータ版)」の提供を開始
- 自社と競合のCXの急所を可視化する「trans-CX Survey（COMX診断）」を提供開始
- TikTok Shopのローンチを見据え、出店企業向け運営支援サービスを開始

サービス体制の強化（アライアンス・パートナー・M&A・拠点など）

- 「TTテッククリエーション株式会社」の設立について
- NTT Comとトランスコスモス、Digital BPO®ソリューションの提供を本格的に開始

サービスの提供実績／受賞・認定・その他企業活動など

- 「世界8都市オンラインショッピング利用動向調査2025」結果を発表
- 長崎大学情報データ科学部と人材育成並びに教育・研究領域において産学連携を開始
- 環境省が発行する「自然共生サイトに係る支援証明書（試行版）」を取得
- パールアビスが運営するタイトル関連商品の公式ECサイト「Pearl Abyss Store」を開設
- 配当方針の変更、配当予想の修正および株主優待制度の廃止に関するお知らせ
- AI不動産投資のRENOSYにAPI連携プラットフォーム「trans-Re:Connect」を提供

サービスの提供実績／受賞・認定・その他企業活動など

- バンダイの人気IP「たまごっち」を活用したコンテンツ「Tamagotchi Party」をRobloxで公開
- トランスコスモスグループの温室効果ガス排出削減目標が「SBT認定」を取得
- 教員の働き方改革への取り組みとして文部科学省「学校における保護者等への対応の高度化事業」に採択
- 東京都中小企業振興公社が実施するスタートアップを活用したリスクリング施策を支援し、都内中小企業のデジタル化を推進
- 地方自治体向けクラウドサービス「KANAMETO」が実質CO2排出量ゼロのサービスに
- 運営するエンターテインメント越境ECサイト「Geek Jack」にてVR空間を利用した音楽フェス「くらげJack」を開催
- 「TikTok Shop Partner（TSP）」に正式認定

サービスの開発・強化

- 中国企業の日本進出支援サービスを強化

サービス体制の強化（アライアンス・パートナー・M&A・拠点など）

- 韓国に新たなオペレーション拠点を開設
- 韓国通信会社のKTと戦略的パートナーシップを締結

受賞・認定・その他企業活動など

- CTIゴールドイノベーションアワード「スマートカスタマーサービスソリューション賞」を2年連続受賞
- 中国のオペレーション拠点「合肥センター」の開設10周年記念式典を開催
- 韓国の漢陽大学MBAと奨学協約を締結

- 本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。
- 本資料では、金額は千万円未満を四捨五入、%は小数点以下第2位を四捨五入で、それぞれ表記しています。



IRに関するお問い合わせ
トランスコスモス株式会社
コーポレート統括 IR推進部
ir_info@trans-cosmos.co.jp